

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

# 思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所



## 水没予定地のゴミ不法投棄対応 ～南摩ダムクリーン大作戦

### ➤ 家屋移転が進む中、ゴミ問題が深刻化!

上南摩方面から上久我方面、あるいはその逆方向にと、南摩ダム建設予定地を縦断する県道を通り抜ける車両は、現在も少なくありません。しかし、残念なことに、ゴミをポイ捨てする心ない人の仕業か、道路脇には、空き缶やコンビニ袋に入った飲食物の包装ゴミなどがあちこちに! これらポイ捨てゴミに加え、さらに悪質なゴミに遭遇することさえあります。

### ➤ クリーン大作戦を実施

不法投棄の防止措置については、日頃から取り組んでいるところですが、既に投棄されたゴミについては、回収・処分するほかありません。そこで、当建設所では「南摩ダムクリーン大作戦」と銘打って、4月下旬にゴミの回収・処分作業を実施しました。当日は職員が4班に分かれて県道及び林道に沿ってゴミの回収を行いました。同時に事業用地管理区域を明示し、むやみな立ち入りを遠慮していただくことを目的に道路沿いにロープを設置しました。

### ➤ 回収したゴミはさまざま

当日回収したゴミは「燃えるゴミ」から「家電製品などの粗大ゴミ」までおよそ軽トラック2台、2トントラック2台分ほどありました。なかでも多かったのは、空き缶やペットボトル、包装紙などの家庭ゴミでした。

### ➤ 困難な分別作業

この膨大なゴミを処分するためには、分別作業が必要となります。悪臭を放つゴミや腐食して原型をとどめていないゴミなど、職員自ら一つ一つ手作業で分別していきました。分別済のゴミは、鹿沼市の協力をいただき鹿沼市環境クリーンセンターに持ち込み、種別毎に処分していただきました。

### ➤ パトロールを実施中

水没等事業用地では職員によるパトロールを随時実施しています。パトロール員が声をお掛けすることがございますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

不法投棄に対しては、鹿沼市及び警察のご指導のもと、今後も引き続き厳正に対処して参ります。



上:ゴミを回収する職員・下:収集したゴミ

## こんにちは! の 南摩仲間たち



発芽して1年目の苗木

その  
エノキ(ニレ科エノキ属)  
Celtis sinensis var.japonica

エノキと聞いてキノコを連想した方はいらっしゃいますか?エノキは、谷沿いなど、水分条件のよい環境によく生育する落葉高木で、本州、四国、九州に分布します。栃木県内にも広く生育し、南摩においても、南摩川沿いなど、おもに河川沿いで確認されています。

春に淡黄色の小さい花を咲かせ、秋に球形の果実が橙色に熟し食べることができます。葉は国蝶であるオオムラサキの幼虫の餌となります。江戸時代には一里塚として植えられたそうです。

現在、思川開発建設所では、工事等に伴い改変される土地等の植生回復の方法として、郷土種を用いた植栽を検討しています。2ページでもご紹介していますが、昨年10月に試験的に郷土種苗木の育成を始め、その時種をまいたエノキが、この春芽を出し、ネムノキやコクサギなどといった郷土種とともに、旧梶又小学校の校庭でスクスク成長しています。



## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。日々暑さが増し、水が恋しくなる季節ですが、水は限りある資源です。節水に対するみなさま一人ひとりのご協力をお願いします。

## 人事異動

5月1日付で異動のありました職員を紹介します。

転出者 「お世話になりました」【転出先】  
副所長(技術) 加藤 宏基(技術管理室)

副所長(技術) 太田 道男(所付)

7月1日付で異動のありました職員を紹介します。

転入者 「よろしくお願ひします」【前任地】  
調査役 星野 徹(琵琶湖開発総合管理所)

転出者 「お世話になりました」【転出先】  
所付 椎名 教之(利根川下流総合管理所)

編集・発行所



独立行政法人 水資源機構  
思川開発建設所  
〒320-0065 宇都宮市駒生町中丸3368  
Tel(028)622-8941 Fax(028)622-8945

鹿沼事務所  
〒322-0346 鹿沼市上南摩187-18  
Tel(0289)77-3888 Fax(0289)77-3890

ホームページ <http://www.water.go.jp/kanto/omogawa/index.html>

## 取水・導水地区住民へ事業説明会開催を開催

黒川、大芦川と南摩ダムを結ぶ導水路トンネルについて、地下を通過するルートが概ね確定したことをうけ、導水路トンネルが通過する取水・導水地区(板荷地区、東大芦地区、西大芦地区及び加蘇地区)への事業説明会を実施いたしました。

説明会は3月中旬から6月中旬にかけ、地区毎に延べ13回にわたり開催し、取水・導水地区の方々を対象に、導水路ルートや取水・放流工の場所等についてご説明いたしました。

説明会ではご出席いただいた方々から、導水路トンネルの構造や施工方法など多くの質問をいただきました。

当建設所では、引き続き、このような事業説明会等を開催し、地域住民の方々のご理解をいただきながら、事業を進めて参ります。



説明会の様子

## 郷土種苗木の育成試験・経過報告

思川開発事業では、環境保全の一環として、工事等による改変地の植生回復を南摩地域の郷土種を用いて行うことを検討しています。思川だより13号(平成16年10月号)では、このための郷土種苗木の育成を旧梶又小学校(旧梶小)の校庭を利用して、試験的に始めたことをお知らせしましたが、今回

はその後の経過をご報告します。

平成16年10月末に郷土種の種子12種(各200粒)を、ビニールポットに播種しました。(コクサギについては、種子採取が遅れたため11月の播種となりました。)

その後、11月の気候が例年に比して温暖であったためか、または寒さ(霜)対策として実施した敷き藁が功を奏したのか、11月中旬にはネムノキ、ヌルデの2種について発芽が見られました。しかしながら、あまりに過保護であったためか、その後、全て枯れてしまいました。

昨年の冬は暖冬傾向で始まったものの、12月になると寒さも厳しくなり、敷き藁に旧梶小に住みついた猫が潜り込むようになりました。

そのまま放置したのでは、ポット苗に被害が及ぶことが予想されたため、急遽、木柵を設置するとともに、猫には別途旧梶小の床下に藁を敷いて寝室を用意しました。木柵設置では、校庭の地盤の堅さを甘く見ていた発案者の杭打ちに苦労する一幕もありましたが、無事りっぱな木柵が完成しました。

春を迎え日差しも暖かくなるにつれ、今度は日除け対策を実施する必要性が生じ、結局、木柵では日除けの設置が困難である分かりました。このため、第二の柵(単管パイプで2mの高さを確保)を設置し、遮光ネットを備え付け、育苗施設の体裁が整いました。



日除けも備えた柵が完成!



発芽したコクサギ



成長するとこんな姿だよ!



3月下旬になるとコクサギ(種まきが一番遅れた種)の発芽が本格化し、4月に入り、ヌルデやエノキなども発芽を始めました。

現在、8種の発芽が確認され、残る種についても発芽らしきものが観られるものや1年目では発芽しない種もあるため、経過を観察中です。

郷土種の播種・育苗は当建設所では初めての試みであり、対策等が後手後手に回ることが多く、試行錯誤を繰り返しておりますが、順調に育つ苗木は我が子の成長を観る想いです。

今後も折にふれ、この場をお借りして経過等をご報告して参ります。



## 「水の週間」関連行事に参加します

8月1日は、「水の日」です。水資源の有効性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年5月31日閣議了解により制定されました。

毎年8月1日を「水の日」とし、この日を初日とする1週間を「水の週間」として下記のとおり各地で水に関する啓発活動が行われています。

栃木県でも8月2日(火)に「水の週間」行事の一環として、栃木県総合文化センターにて当建設所のパネル展示等を行います。また、この他にも、中学生水の作文コンクール表彰式(13時より)や吉村作治先生の講演会「川が文明をつくり育む～エジプト文明を例に～」(14時より)が開催されます。入場無料ですので、是非、一度足を運んでみてください。

「水の週間」主なイベント

- (1)ウォーターフェア'05東京  
日時:平成17年7月28日～8月2日  
場所:科学技術館(東京都千代田区)
- (2)第25回ウォーターフェア隅田川レガッタ  
日時:平成17年8月7日午前11時より  
場所:隅田川桜橋上流～吾妻橋

